

平成 29 年（2017 年）度 11 月 理事会議事録

I. 日時：平成 29 年 11 月 9 日（木）19:05～21:05

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・玖島・遠藤・野本・名古屋・作田・村越

澤口・佐藤・大郷 計 14 名

欠席理事：錠内・奥原・神保

出席監事：田中・糊沢

その他：出口（広報部）・池田・平山（共に書記）

IV. 議長団選出

議長：野々垣副会長

副議長：金山事務局長

議事録署名人：野々垣副会長・澤口理事・糊沢監事

V. 配布資料

1. 式次第

2. 各部・委員会 事務局／財務部／学術部／教育部／広報部／福利部／地域リハビリテーション部／制度対策部／ウェブサイト管理委員会／学会評議委員会／公益法人化対策委員会／生活行為向上マネジメント推進委員会／認知症対策委員会／地域包括ケアシステム推進委員会

3. ウェブサイト管理委員会：サイボウズ Live 運用マニュアル

4. 事務局：共催検討資料「第 14 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム」／神奈川県医療専門職連合会市民公開セミナー案内／県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」

5. 財務部：中間監査報告

VI. 回覧資料

1. 第 27 回日本保健科学学会学術集会抄録集

2. 一般社団法人長野県作業療法士会 平成 29 年度学術誌

3. 一般社団法人島根県作業療法士会 第 12 回島根県作業療法学会誌

4. 公益社団法人神奈川県病院協会 第 36 回神奈川県病院学会プログラム及び抄録集

5. 公益社団法人北海道作業療法士会 北海道作業療法 VOL34No3

6. 一般社団法人広島県作業療法士会 広島県作業療法士会学術活動記録集 VOL7

VII. 審議内容

1. 三役：公益事業を増やすことについて、公益法人化対策：公益社団法人化の是非（合同）

2. 重点課題

(1) ウェブサイト管理委員会：サイボウズ live 運用マニュアル

(2) 学会評議委員会：臨床大会・学会の演題査読の在り方について

3. 審議事項

- (1) 学術部：①来年度の研究助成金の応募資格の変更について
- (2) ウェブサイト管理委員会：県土会コンテンツ・ブログの投稿者管理について
- (3) 制度対策部：HCR について
- (4) 学会評議委員会：学会での保育所の設置と費用負担について
- (5) 事務局：後援と共催について
- (6) 地域包括ケア推進委員会：部員の承認

#### 4. その他各部・委員会の報告

### VIII. 審議事項

#### 1. 三役・公益法人化対策

##### (1) 公益事業を増やすことについて

###### 1) 審議理由

単に公益法人になることを目的とするわけではなく、全体として公益目的事業の拡大についての共有の議論をしたい（三役）。

公益法人化対策委員会も立ち上げて 4 年目に入る。そろそろ会として決済の時期ではないか（公益法人化対策）。

###### 2) サイボウズによる意見

公認会計士から公益法人についての講義を受け、サイボウズにて公益法人化についての意見を集めた。

###### ①共通認識

今すぐ公益事業にはできないのではないかという意見が多かった。理由として、財政の状況であったり、公益事業が少ないことなどが挙げられた。

###### 3) 意見

###### ①公益法人化をする理由について

- ・一般社団法人になるまで 30 年かかった。県民に対して責任感を持って活動をしていくために社団という形をとり、総会も実施した。一般社団法人では、県に事業の報告義務はないが、公益法人では年に一度会計も含めて報告義務がある。つまり、公に責任を持って事業を執り行っているということが認められる。当会が公益事業を行っていく場合、公益法人の方が根拠も責任もあるという立ち位置になる。それによって行政から仕事を任されるのではないか。
- ・公益事業は国家資格を有している者の職責である。会長の文言にある「公益法人化の最大の理由は公的な信用性が上がる」としている。これは、事業を執り行っていく中で、結果的に上がっていくものではないか。
- ・藤沢市は社団法人でもない作業療法士の集まりに対して、行政から仕事の依頼がくる。社会的な立場ではなく、顔の見える関係性が大切なのではないか。そのために地域ブロック化などが先に行うべきではないか。

###### ②公益法人化を目指すタイミング

- ・現状、組織として公益化するにはまだ体力（財力）がない。過去には講習会や事務局運営費も公益事業の一環として捉えることが可能であるという認識だったが、現在、その考えは適応されない。事務局の運営費が 50%を占めている今の組織が公益事業を 50%行うためには、予算が不足している。会員数がこのまま増えれば 5 年後には公益

法人化可能な財源になる。会費収入は安定して増えていっている。一方、研究会は浮き沈みが激しい部門になっているため、逆説的に伸びしろがある部門である。事業をやりっぱなしで細かい部分がずさんになりがちなので、土台作りのためにも見直しが必要。

- ・ 県士会の基本方針としては定款にもあるように「職能団体として・・・」という記述もあるが、公益事業を行うにあたっての一般会員の考え方・思いにも配慮が必要。一般会員には研修会目的での入会、もしくは研修会以外の事業をあまり知らない会員も多数いるのが現状である。また、県士会に入会する意味を見出すことのできない一般会員も多い。一般会員との公益法人化について温度差があり、周知徹底・会員を巻き込むことが必要ではないか。

### ③今後の活動について

- ・ 4年間活動してきてあまり変化がみられていないということは、PDCA サイクルから見ても、費用対効果からしても中長期的に丁寧に見直す必要がある。分かりやすくアピールし、頼りにされる県士会にしていく必要がある。一般会員にも、自分たちの研修の為だけでなく、自分たちも県民に貢献している実感してもらえるように向けていく必要がある。
- ・ 公益法人化対策委員会でも、一般会員への告知の対策や、いずれ公益法人化の流れで動いているので公益法人になることのメリットを伝えていけるように各部門で検討していく必要がある。

⇒上記意見を加味して、どこを論点とするか三役と公益法人化対策委員で検討する。

## 2. 事務局

### (1) 後援と共催について (メール審議)

#### 1) 後援 ⇒すべて承認

- ①日本介護支援専門員協会南関東ブロック研修会 第 16 回神奈川県介護支援専門員研究大会 2018 年 1 月 20 日 (土)
- ②第 28 回日本臨床工学会及び平成 30 年公益社団法人日本臨床工学技士会総会 2018 年 5 月 26 日 (土)、27 日 (日) 会場：パシフィコ横浜
- ③一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会「アートとトークによる多様性尊重の社会づくり展」2017 年 12 月 2 日 (土)～17 日 (日) 会場：ミュージア川崎\*初依頼
- ④30 回日本ハンドセラピイ学会学術集会「ハンドセラピイイノベーション～概念と技術の革新を求めて～」 2018 年 1 月 28 日 (土)、29 日 (日) 会場：ソラシティカンファレンスセンター

#### 2) 共催 ⇒すべて承認

- ①第 14 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム「災害とリハビリテーション～被災地から学ぶ 震災後の地域生活支援～」 2018 年 2 月 3 日 (土) 13:00～16:30 会場：横浜情報文化センター

\*今後「後援・共催・賛助会員」に関する規約もしくは内規を検討していく予定。

## 3. 学術部

(1) 来年度の研究助成金の応募資格の変更について

1) 現状の課題

当会の研究助成事業は新人会員に研究の支援を行うことを主目的としているが、3 法人による研究チームが条件となることから条件達成のハードルが高く、応募件数が少ない。

2) 提案

応募要件を一部緩和し、全会員からの研究申請の件数を増加させることを目的としたい。また、助成金を受けたものは論文化の義務があり、作業療法と当学術誌のどちらかに投稿の義務を有しているが、今後は当士会の助成金を受けたものは当学術誌の投稿に限定したい。

①新人会員向け（7 年目まで） 条件なしで上限 20 万まで：1 件(1 法人でも可能)

②全会員向け 2 法人以上で上限 20 万まで：1 件

③研究終了後の論文投稿に関しては神奈川県作業療法研究に限定する。

④発表は日本作業療法学会および神奈川県作業療法学会のどちらでも可能。

⇒承認。ただし、研究助成金の使い方について三役から提案あり。現在助成金について領収書の提出はされているが、研究に見合ったものを購入しているかどうかを見極めるためにも規定を設ける必要があるのではないかと。また、余剰は県士会に返却する、学会参加費や交通費などルールを検討してもらう。

#### 4. 制度対策部

(1) HCR について

1) 審議理由

次年度以降の都士会との共同のブース出展に関して、その受け入れの可否、受け入れ方について明確にしておきたい。東京都士会は来年度も継続する方針である。

2) 意見

- ・HCR 参加は作業療法をという仕事の宣伝を目的としていたが、ブースの値段が高騰してきたため、「費用対効果が適切であるか」という疑問から、日本作業療法士協会は手を引いた経過がある。
- ・今回、都士会主催で進めていただいたが、メールでやりとりをしていた人員の配置等の情報伝達がうまくいっていなかったことがあったので、今後も継続する場合は調整が必要と思われる。
- ・従来は HCR 本部から制度対策部に依頼があったが、今回のように都士会と合同となると、時期も重なり活動内容が煩雑になるため、混乱を避けるためにも窓口を設ける必要があると思われる。

⇒来年度も HCR に参加するかどうかは、三役と制度対策部で再度検討する。

#### 5. ウェブサイト管理委員会

(1) サイボウズ Live の運用マニュアルについて

ワーキングチームで運用マニュアルを作成した。

1) 理事メーリングリストとの使い分けについて

理事メールリングリスト：「返答」を必要としない一方通行の話題・連絡に使用。

サイボウズ Live：「返答」を必要とする話題・連絡および、「返答」は不要だが、継続的に報告等が必要な話題・連絡に用いる。

## 2) 運用ルールについて

### ①掲示板

理事・監事の判断で設置可能。ただし、審議目的での設置は事務局長の許可を必要とする。また、タイトルに【審議】【意見聴取】【情報収集】【協力要請】【日程調整】【その他】と目的を付け、期限がある場合は期限も明記する。

### ②イベント

a 事務局管理：理事会・三役会の日程と資料の提出期限、社員総会の日程、理事・役員選挙、医療職連合会・代議員総会の開催日、日本作業療法士協会・社員総会の日程。

b 関連部署管理：研究会の開催日、対外広報活動の実施日、県士会ニュースの原稿・チラシの締め切り、県学会・県大会の開催日および演題受付・事例受付関連に日程、監査日と書類の締め切り、渉外活動。

c 共有フォルダ；サイボウズ Live の共有フォルダの上限は 1GB であるため、1 ファイルのサイズは 2MB を上限とし、半永続的に全理事・監事が必要となると事務局長が判断したファイルのみ保存する。該当しそうなファイルがある場合、理事・監事から事務局に「趣旨説明」を行い、許可を得たうえで各自がアップする。

## 3) 懸案事項

サイボウズ Live（無料版）の 2019 年 4 月 15 日でサービス終了が発表された。この 1 年半をその有用性を検証する期間とする。有用であれば有料版の利用を検討。また、県士会サイトが使用しているサクラインターネット（グループウェアサービス）は年間¥40,000 であり、サイボウズ Live 有料版の半分の金額で利用可能など、その他のツールも検討の余地はある。

## (2) 県士会コンテンツ・ブログの投稿者管理について

### 1) 審議理由

今年 5 月下旬から、県士会サイトが利用しているレンタルサーバー会社から、アクセス過多(サーバーへの過剰負荷)による警告(アクセス制限)が発せられていた。原因の追及を行い、対策をしたが多少の改善しか認められなかった(制限も解除されず)。アカウントの乗っ取りによる不正アクセスも考えられる。9 月 27 日・28 日に発生した大規模なアクセス障害以降、アクセス制限が解除されたため、早急な対策は必要なくなったが、今後の安定した運営のために以下の対策を採りたい。

### 2) 提案

①コンテンツ・ブログへ投稿するためのログインパスワードを強化する。

②強固なパスワードを使用することで、不正ログインを防ぐ可能性が高くなる。

③投稿者全員が使用しているパスワードを 11 桁以上の強固なものへ変更を行う。

⇒作田理事より提案された手順に乗っ取り、作業を行うことで承認。

## 6. 学会評議委員会

### (1) 臨床大会・学会の演題査読の在り方について

#### 1) 審議理由

査読委員を毎回学会実行委員会で検討するのではなく、県士会学術部の査読委員会に位置付けることで実行委員の負担を少なくしたい。

#### 2) 意見

- ・現状では、1つの学術誌への投稿に対して複数名で査読を行っており査読委員への負担が大きいこと（ひとつの論文を査読するのに1～2年かかる場合もある）、学会のテーマやコンセプトにあった論文を採択していくにあたって委員を固定するのは柔軟に対応しにくいことなどの理由から、査読委員から人員を割くことは難しい(学術部)。
- ・妥協案として、学会評議員の中に別組織として学会・県大会ごとに査読委員（班）を作るのはどうか。

⇒学会評議員の中で再検討して、再度理事会に提案する。

### (2) 学会での保育所の設置と費用負担について

#### 1) 審議理由

保育児一人につき2～3万円等高額であることもあり、学会のあり方として保育を設けることは望ましいが、学会運営費用の中で毎回討議していく事なのか確認したい。

#### 2) 意見

- ・託児所の料金に関しては、会社やサービス内容により差があるため、上記の価格設定の会社以外にも情報収集をする必要がある。
- ・学会評議委員として、学会としての保育の在り方や運営の仕方の内規を示していくことができるように、学会評議員の中で話し合いをもってほしい。
- ・「学会マニュアル」が完成していないことが課題ではないか。マニュアル作りか「学会・臨床大会のサポート」のどちらを優先的に取り組んでいくかも、学会評議員の中で再検討してほしい。
- ・この課題を出した背景を考えるとコストだけを理由に判断できないのではないか。

⇒学会評議委員会で審議し、案を理事会に提出してもらおう。サイボウズも活用する。

## 7. 地域包括ケア推進委員会

### (1) 部員の承認（メール審議）

池嶋 孝二（ほほえみ訪問看護リハビリステーション）※福利部所属 オブザーバー

⇒承認

## IX. 報告事項

### 1. 事務局

#### (1) 県からの情報提供

- 1) 2017 秋のかながわレッドリボン月間 2017 年 11 月 16 日～12 月 15 日
- 2) 神奈川県地域地ハビリテーション連携指針の改定について

#### (2) OT 協会関連

- 1) 広島県作業療法士会役員改選 会長高木節氏（済生会広島病院）
- 2) 平成 29 年度士会接続システム講習会 2017 年 10 月 28 日（土）13:00～17:00

会場：協会 金山事務局長が参加。以下報告事項。

①平成 29 年 5 月から個人情報保護法が改正。すべての事業所で個人情報保護法が適応。規約委員会に情報提供済み。

②5 年かけて協会が会費の一括徴収を実施予定。財務に情報提供済み。

(3) その他の関係団体

1) 神奈川県医療専門職連合会

①市民公開セミナー「仮想現実VR/拡張現実AR/複合現実MRによる次世代臨床画像診断と手術支援」2017 年 11 月 24 日（金）19:00～ 会場：横浜情報文化センター

②中区制 90 周年・開港記念会館 100 周年記念事業協賛に対する感謝状報告

2) 県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」

2017 年 12 月 5 日（火）18:00～ 会場：神奈川県総合医療会館 7 階大講堂

⇒当士会より 8 名参加の要請。サイボウズにて募る。

3) 平成 29 年度神奈川県病院医療関係団体連絡協議会

2017 年 10 月 18 日（水）16:30～20:00 会場：エスカル横浜 2 階「英一番館」

野々垣副会長、金山事務局長参加。関係団体顔合わせと情報交換。

(4) 後援報告

1) 県西地区リハビリテーション連絡協議会 リハビリフェスタ 2018「生活コーディネーター“リハもん”に会いに行こう」

2018 年 3 月 4 日（日）10:00～16:00 会場：小田原アリーナ

## 2. 財務

(1) 中間監査

2017 年 10 月 14 日(土)に実施。領収証と会計ファイルの相違や通帳記入漏れ・印刷もれ等が散見された。

(2) 下期事業費の振り込みについて

学術部、教育部、広報部へ振り込み予定。

## 3. 学術部

(1) スキルアップ研修事業（講習会）報告

1) 高次脳機能障害のある方への就労支援の基礎 -入院中からできるアプローチ-

2017 年 11 月 5 日（日）13:45～16:45 会場：ウィリング横浜

講師：野々垣睦美氏（作業療法士 クラブハウスすてっぷなな所長）

受講料：2,000 円 参加数：33 名(県内 28 名，県外 5 名)

2) 知って得する！臨床心理士から学ぶ発達障害への支援方法

2017 年 10 月 29 日（日）13:30～16:30 会場：ハーモニーとよおか地域交流室

講師：横山智大氏（臨床心理士 国府津病院）、滝沢萌華氏（臨床心理士 湘南福祉医療センター診療所）受講料：2,000 円 参加数：17 名

(2) 神奈川県作業療法研究雑誌 編集委員長の後任の決定について

2017 年 10 月 18 日の理事会メールにて次期作業療法研究雑誌編集委員長の後任が承認された。北里大学医療衛生学部講師 幅田智也氏。年度内に顔合わせを行い、徐々

に引き継ぎを行なっていく。

#### 4. 教育部

- (1) SIG 団体「療法士活性化委員会」の認定に関して  
大塚久氏 (PT) が代表の会であり、OT はいるが神奈川県内の人はない。会員数が多くセミナー主催の団体で、県内の身近な研究会や地域での連携を深めていこうという感じではないため、県士会の認定はせず、OT 協会への申請を先方に提案する。
- (2) 研修会予定
  - 1) 現職者選択研修 (発達障害領域の作業療法)  
2018 年 2 月 11 日 (日) 会場: 横浜リハビリテーション専門学校  
講師: 高橋香代子氏 (北里大学)、鴨下賢一氏 (静岡県立こども病院)

#### 5. 広報部

- (1) ニュースの発行について  
予算内で通常通り発行中。会員増えたが費用は見積もり通り。
- (2) 外部団体からのチラシ封入について  
「第 47 回臨床神経生理学会」で初めて封入代を請求するが、その方法について金山事務局長及び事務局と相談中。未請求。
- (3) 作品コーナーについて  
初めての完全外部応募あり。2 月号に掲載で先方も了承済み。
- (4) 外部団体・人から記事掲載依頼について  
内容判断や、紙面に限りがあるので許すか否かが難しい。
- (5) 対外広報 活動報告
  - 1) 横浜市中区区民祭 ハローよこはま出展 (神奈川県医療専門職連合会合同ブース)  
2017 年 10 月 8 日 (日)
- (6) 対外広報 活動予定
  - 1) 神奈川新聞主催 介護フェア出展 2017 年 11 月 5 日 (日)
  - 2) 川崎市介護いきいきフェア (事業計画予定外)  
2017 年 11 月 16 日 (木) 制度対策部福祉用具班と協力。
  - 3) 日本介護支援専門員協会南関東ブロック研修会 (兼 神奈川県介護支援専門員研究大会) 2018 年 1 月 20 日 (土)
  - 4) 地域リハビリテーションフォーラム  
2019 年 2 月ごろ 制度対策部災害対策班と協力。

#### 6. 福利部

- (1) 求人・求職の登録および情報提供 (2017 年 9 月 10 日～10 月 23 日)
  - 1) 新規掲載依頼: のべ 20 件
  - 2) 変更依頼: のべ 4 件
  - 3) 削除依頼: のべ 4 件
  - 4) 問い合わせ対応: のべ 1 件



- (2) 職場見学会・体験会 障害福祉サービス事業所 『NEXT STAGE』  
2017 年 9 月 11 日(月) 内容：精神領域における就労支援 参加者：3 名
- (3) JAOT 特別表彰受賞者推薦  
推薦できるよう準備中。

## 7. 地域リハビリテーション部

- (1) 研修会について
  - 1) 研修会報告
    - ①地域リハビリテーション人材育成研修会「知ってみよう！地域における作業療法の役割【介護予防編】」  
2017 年 10 月 8 日（日） 会場：ウィリング横浜
    - 2) 研修会企画
      - ①地域リハビリテーション人材育成研修会  
知ってみよう！地域における作業療法の役割【地域包括ケアシステム編】  
2017 年 11 月 26 日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校
      - ②地域における特別支援学校など講習会  
知ってみよう！地域における作業療法の役割【発達支援編】  
2017 年 11 月 18 日（土） 会場：横浜リハビリテーションで専門学校
  - (2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告
    - 1) 研修会企画
      - ①神奈川県訪問リハビリテーション学術大会  
2017 年 12 月 2 日（土） 会場：横浜市健康福祉総合センター

## 8. 制度対策部

- (1) 福祉用具関連事業班
  - 1) 福祉用具に関する会員向け研修会
    - 第 3 回 2017 年 9 月 2 日開催 参加者：7 名
    - 第 4 回 2017 年 11 月 5 日開催予定 申し込み：11 名
  - 2) 福祉用具に関する情報提供、相談支援
    - ①福祉用具相談支援システム  
引き続き運用。本年度相談 2 件対応済み。
    - ②生活行為工夫情報モデル事業  
事例投稿を会員から募集したが、現在本年度投稿数 9 件（うち 3 件下書き状態のため公開できず）。10 月末までに目標 108 件だが本年度達成困難と思われる。  
本事業の活用について他事業と検討していくため、2017 年 9 月 2 日に本体委員会主催会議開催、木村副会長、長田班員が出席。今後、他の事業との連携については MTDLP、地域リハ部と連携しすすめていきたいと考えている。
    - ③ブログの活用  
引き続き適宜発信。研修会開催報告を発信している。
  - 3) 他団体からの要請協力

- ①HCR（2017 年 9 月 27 日～9 月 29 日）事務局、広報班等から人員協力を得て対応。
  - ②一般社団法人福祉用具専門相談員協会「協会員向け研修」の依頼  
2017 年 11 月 6 日 第 2 回打ち合わせ実施予定（コアメンバーのみの打ち合わせ）
  - ③かわさき介護いきいきフェア（広報部と協力しブース出展） 加藤、高吉の 2 名派遣予定。
- (2) 災害対策事業班
- 1) 会員被災状況確認システムのデモ運用の実施延長について  
当初デモ運用は 9 月下旬を予定していたが、2018 年 2 月 3 日の OT 協会の「災害発生を想定した訓練の実施」に合わせて、デモ運用を行うようにしていく。

#### 9. ウェブサイト管理委員会

- (1) 県士会サイト・常時 SSL 化導入について  
新しい URL ⇒ <https://kana-ot.jp> 印刷物等の変更を行う。  
2017 年 10 月 6 日の作業後使用できなくなった機能があるが概ね順調に移行できた。  
使用できなくなった機能(県士会ブログの更新情報の取得)については代案を探している。

#### 10. 学会評議委員会

- (1) 第 4 回神奈川県臨床作業療法大会実行委員会  
2017 年 10 月 14 日（土） 会場：横浜 YMCA 専門学校  
審議事項：会場の使い方、会場ロビーのブース設置、書籍ブース等業者候補の検討、  
開催内容の確認、大会実行委員会組織図

#### 11. 公益法人化対策委員会

- (1) 当会で申請できると思われる助成金一覧（一部）の作成
  - 1) 公益財団法人ヤマト福祉財団「平成 30 年度障がい者福祉助成金（最大 100 万円）」  
講演会・研修・スポーツ・文化の事業等 応募期間：2017 年 10 月 1 日～11 月 30 日
  - 2) 公益財団法人住宅医療助成 勇美記念財団「地元医師会、行政を交えた顔の見える多職種研 修会への助成」（上限 55 万円）地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会であること等 応募期間：2017 年 10 月 2 日～12 月 8 日  
開催期間：2018 年 3 月～2019 年 3 月末

\*これらの応募期間は概ね 10 月～11 月ないし 12 月（実施は概ね来年度）

#### 12. MTDLP 推進委員会

- (1) 研修会開催
  - 1) MTDLP 研修
    - ①2018 年 2 月 18 日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校
    - 2) 事例作成 3 回実施予定 日程未定
    - 3) 事例発表
      - ①2017 年 11 月 25 日（土） 会場：横浜リハビリテーション専門学校
      - ②残り 2 回実施予定 日程未定

### 1.3. 認知症対策委員会

- (1) 認知症をにんちしよう会イベント「ステージ発表&ブース出展」報告

2017年10月1日(日) 会場：ハルネ小田原

延べ来場者数：1,748名 ブース延べ来場者数：90名

配布物：県士会パンフレット(88部)、景品(お花マグネット100個)

アンケート回答者：88名(ブース全来場者回答・2回 来場2名)。

当日の様子を「県士会活動☆あらかると」掲載。県士会ニュース12月号にも掲載依頼中。

### 1.4. 渉外活動

- (1) 神奈川県保健医療計画推進会議脳卒中医療連携検討部会(吉本理事)

2017年10月26日(木) 会場：神奈川県総合医療会館

内容：医療計画の素案を作成のため、計画内容やその他課題を検討した。

- (2) 鎌倉地域のリハビリテーション関連事業推進(吉本理事)

- 1) 鎌倉市市民健康課より介護予防事業依頼

当士会通して、鎌倉地域のOTで担当していく。窓口は吉本理事。

- 2) 鎌倉・逗子・葉山地域 地域包括ケア・在宅医療推進連絡会議(鎌倉保健福祉事務所)への出席

神奈川県地域リハビリテーション3団体協議会として12月より吉本理事が出席。

XI. 次回理事会日時・場所 三役会 2018年1月23日(火) 19:00～  
理事会 2018年2月8日(木) 19:00～  
一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上(文責：池田・平山・金山)

議事録署名人議長：	野々垣睦美	印
理事：	澤口勇	印
監事：	榎澤直美	印